

一般質問

12月定例会



内藤 眞一議員

Q 飯南病院に人工透析導入を

人工透析のため町外へ通院している患者が19人いる。透析に4時間、通院に1時間以上かかり身体的精神的負担が大きい。
設備や医療スタッフの確保等の投資が必要だが、患者の苦痛を緩和することが大切であり、飯南病院へ人工透析の導入を考えてはどうか。



飯南病院

A 検討する状況にない

町長 山崎英樹

町外への通院治療患者やその家族の負担は大きい。従来は、交通費の助成だけであったが、現在は、医療機関への送迎事業を行っている。

飯南病院の見解は、医師等人材不足の状況から、常勤医が幅広く診るといふビジョンで、持続可能な医療体制を構築する。

透析治療は、患者やその家族だけでなく、国全体の医療費という面からも負担が大きいので、予防的な医療介入が重要だ。

初期投資とランニングコストを考える上探算は厳しく、他に優先すべき課題が多い。以上の理由で、透析医療導入を検討する状況にないというところであり、私も同様に考える。

Q 高齢者に買物、通院支援を



A デマンドバス導入を研究

町長 山崎英樹

昨年10月、高齢者や交通弱者への買物支援対策として移動販売が開始された。事業者には、手探りの中でサービス提供に感謝している。

本年度から、移動販売車運営支援事業として運営経費の一部を助成している。来年度も本年度の実績を確認し予算化する。

昨年、町内事業者が高齢者の買物支援を目的に、移動販売を開始した。当初、経費が賄えない状況であったようだが、町からの支援により継続されている。引き続き支援が必要ではないか。

また、高齢者は買物や病院への通院をする機会が多く、交通機関の見直しが必要だ。デマンドバスを導入してはどうか。

一般質問

12月定例会



伊藤 好晴 議員

Q TPPから脱退を

政府はTPPの大筋合意を国会にも報告せず、国民的な議論もないうまま、既成事実として押し付けようとしているが交渉は総崩れに終わっていると思う。

国会は、農産品の重要5品目は関税撤廃や削減は行わないよう求めている。大筋合意は、国会決議破りと思うがどうか。TPPによる国民生活への影響もつまびらかにすべきと考えられるがどうか。

地方6団体で決議されたTPPストップへ全力を挙げるときではないか。

A 情報開示は不十分

町長 山崎英樹

情報開示されず進められたことは大変遺憾であり、国会決議は守られなかった。国には国民に及ぼす影響を丁寧に説明する責任がある。

TPPは具体的な対策とセツトで評価すべきと思う。

Q 防災訓練は再考を

防災訓練は、必要だから行うのか、条例に謳ってあるから行うのか不明である。

今回の訓練では、警報の発令・避難指示の発令を聴いてから避難することになっていったが、避難指示発令時には要援護の方も含め、すでに集合されていた。橋を渡って集合場所へ集まったのも問題だ。日頃の行動がとっさの場合に現れる。点呼などで参加者を常に把握することが求められる。訓練を改善すべきと思うがどうか。

専任の防災担当者を各地区に委嘱すべきだ。万一の場合に役割を果たしてもらえ。自分たちの地域・住民の安全は自分たちが守る考え方が重要と考えられるがどうか。防災マニュアルの整備も必要だし、防災は定住の要になるという意見もあるがどうか。

A 中身を検討

町長 山崎英樹



必要だからやるわけだが、臨場感が足りない。要援護者の件も指摘の事はしっかりと肝に銘じて生かしていく。趣旨はまったくその通りと思う。よく中身を勉強して、検討する。

Q 誤解のない条例表記を

法律の表記で「又は」は、「一方だけを行うことも、双方を行うこともできる」とされる。

しかし「又は」は、いずれかを選択する接続詞であり、誤解を招きやすい表記である。条例の表記は、わかりやすく、誤解を生じないようにすべきだ。

法律の表記に精通していないと理解できない表現はやめるべきと考えられるがどうか。

A 分かりやすい表記に

町長 山崎英樹

分かりやすい表記への意識が高まっており、分かりやすい表記をしなければならぬ。職員を指導していく。